

科目名	感染制御学特論		D3-213	担当教員名	朝野 和典
単位数	2単位		選択	配当年次	1年次・第2 Semester (通期)
曜日・時限	土曜日・1限目		教室	視聴覚大講義室	
授業概要	院内感染対策は、医療法上すべての医療機関の必須の管理義務となっている。インфекション・コントロール・チーム(ICT)は、医師、看護師、薬剤師、検査技師、事務などの多職種のスタッフが共同で、それぞれの専門的な立場から、対策を実施する。院内感染対策は感染症の発症機序を理解し、感染経路を熟知し、原因微生物に応じた感染対策を実施する。一方で、経済的な観点も重要で、論理的で有効な対策を行なうべきであり、根拠のない対策は、費用と時間の浪費に終わる危険がある。したがって、院内感染対策のプロフェッショナルの需要は高く、それに応える知識を育成する。				
到達目標	1) 感染症の病態と発症機序を知り、治療に用いる抗菌薬と薬剤耐性菌の関係を理解できる。 2) 病院感染対策についての法律および通達、保険制度を知り、エビデンスに基づいた感染対策の実施と感染経路別感染対策が理解できる。 3) 薬剤耐性菌によるアウトブレイクの事例から探知方法と対応について学び、予防のためのマニュアルを作成できる。				
回	日程	見出し	内 容		実践的な授業方法
1	9/25	感染症学総論(1)	イントロダクション(感染対策の歴史と現状) [実務家教員による授業]		○
2	10/2	感染症学総論(2)	院内感染対策の法律と制度 [実務家教員による授業]		○
3	10/9	感染症学各論(1)	感染症情報の収集法 [実務家教員による授業]		○
4	10/16	感染症学各論(2)	隔離予防策 [実務家教員による授業]		○
5	10/23	感染症学各論(3)	職業感染対策 [実務家教員による授業]		○
6	10/30	感染症学各論(4)	耐性菌サーベイランス [実務家教員による授業]		○
7	11/6	感染症学各論(5)	疾患サーベイランス [実務家教員による授業]		○
8	11/13	感染症学各論(6)	アウトブレイク事例 [実務家教員による授業] [グループディスカッション]		○
9	12/4	演習(1)	疫学解析 [実務家教員による授業] [グループディスカッション]		○
10	12/11	演習(2)	抗菌薬適正使用 [実務家教員による授業]		○
11	12/18	演習(3)	マニュアル作成演習-1 [実務家教員による授業] [プレゼンテーション]		○
12	1/8	演習(4)	マニュアル作成演習-2 [実務家教員による授業] [プレゼンテーション]		○
13	1/15	演習(5)	マニュアル作成演習-3 [実務家教員による授業] [プレゼンテーション]		○
14	1/22	演習(6)	院内ラウンド [実務家教員による授業]		○
15	1/29	総論	総括講義 [実務家教員による授業]		○
キーワード		院内感染症、薬剤耐性菌、職業感染予防、サーベイランス、アウトブレイク	履修条件	「医療セーフティマネジメント学特論」を履修済のこと	
教材等	教科書(要事前購入)	特になし			
	参考書(任意購入)	特になし			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業への参加状況(30%)、②レポート(70%) [①授業への積極性、②到達目標を踏まえ、講義内容を十分に理解し、自らの役割をしっかりと説明できるかを評価します。]			
授業時間外で必要な学修		各自の施設において、感染管理上の問題を見つけ出し、マニュアルの整備を行う。			
学生へのメッセージ		院内感染症はICT活動により、現在の1/2~1/3にすることができます。感染症は予防可能な疾患であるという視点が重要です。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。